

発行/伊勢原市 編集/広報戦略課  
〒259-1188 伊勢原市田中348番地  
☎0463-94-4711(代)  
FAX 0463-93-2689



伊勢原市は令和3年3月1日に市制施行50周年を迎えます



伊勢原市  
【いせはら 暮らし安心メール】の  
配信登録や閲覧は、市ホームページから



人口と世帯 ●人口102,169(-2) ●世帯数46,114(+55) 6月1日現在( )は前月比 発行部数/39,700部

### 第53回伊勢原観光道灌まつりは中止します

新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、10月3日(土)・4日(日)に開催を予定していた第53回伊勢原観光道灌まつりは中止します。また、商工会による第46回商工まつりも中止となり、ともに参加者の募集も行いません。

事態が終息していない現状を鑑み、関係者や来場者の健康と安全を最優先して決定したものです。楽しみに

されていた皆さまには申し訳ありませんが、ご理解をお願いします。

なお、来年(第54回)の道灌まつりは市制施行50周年記念事業となります。大きな節目を新たなスタートとして盛大に開催する予定ですので、皆さまのご支援・ご協力をお願いします。

道灌まつり実行委員会(商工観光課内) ☎94-4729

### 「春の叙勲」「危険業務従事者叙勲」を受章

4月に「春の叙勲」「危険業務従事者叙勲」の受章者が発表されました。長年にわたり各分野で活躍、貢献された4人が受章しました。

春の叙勲		危険業務従事者叙勲	
旭日双光章	瑞宝小綬章	瑞宝単光章	瑞宝単光章
國島 正富さん (坪ノ内、76歳) 元伊勢原市議会議員	山口 孝夫さん (上粕屋、70歳) 元総務省関東総合通信局 放送部長	菊池 久子さん (神戸、66歳) 元神奈川県職員	天野 隆史さん (上粕屋、66歳) 元伊勢原市消防司令長

### 6月23日～29日は男女共同参画週間

性別に関わらず、職場や学校、地域、家庭でそれぞれの個性と能力を発揮できる社会を実現するには、一人一人の取り組みが必要です。この機会に、私たちの周りの男女のパートナーシップについて考えてみましょう。

☎94-4716

#### 男女共同参画推進委員会委員を募集します

男女共同参画社会の形成を目指し講演会の企画・運営、啓発紙の発行、男女共同参画プランの進行管理などを行っていただきます。

他の審議会などの委員である人は応募できません。

応募資格 市内在住で満20歳以上の人(令和2年8月25日現在)

募集人数 2人以内

任期 2年以内

応募方法 小論文「男女共同参画社会の形成に必要なこと」(400字以内)に住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、郵送(〒259-1188※住所欄の記入は不要)かファクシミリ(☎92-9009)、電子メール(✉jinken@isehara-city.jp)、または直接市役所1階の担当にご提出ください

締め切り 7月6日(月)

選考方法 書類審査後に面接

### DV・児童虐待で悩んでいませんか ～まずご相談ください～

新型コロナウイルス感染症の影響などで生活が変化し、家族・親子の関係で心配事や悩みが増えていませんか。辛い、苦しいと感じたら、一人で悩まずに、まずは電話でご相談ください。相談者の秘密は固く守られます。

	相談窓口	受付日時
DV相談	DV相談 ☎91-9237	平日 午前9時～午後5時
	女性のための相談窓口 ☎0466-26-5550	平日 午前9時～午後9時 土・日曜日(祝日を除く) 午前9時～午後5時
	女性への暴力相談週末ホットライン ☎045-451-0740	土・日曜日 午後5時～9時 祝日 午前9時～午後9時
	多言語による相談窓口(8カ国語対応) ☎090-8002-2949	月～土曜日 午前10時～午後5時
	男性被害者相談窓口 ☎0570-033-103	平日 午前9時～午後9時
	警察総合相談 ☎#9110	24時間対応
	DV相談+(プラス) ☎0120-279-889	24時間対応
児童虐待相談	子ども家庭相談課 ☎94-4642	平日 午前8時30分～午後5時
	子ども相談 ☎92-1095(専用電話)	平日 午前8時30分～午後5時15分
	平塚児童相談所 ☎73-6888	平日 午前8時30分～午後5時15分
	テレホン相談(子ども・家庭110番) ☎0466-84-7000	毎日 午前9時～午後8時
	児童相談所全国共通ダイヤル ☎189 ※地域の児童相談所につながります	24時間対応

◇年末年始は相談をお休みします (24時間対応の相談窓口を除く)

## シリーズ Road to OYAMA 現代の大山道 第9回 「六本松通り大山道」

前回と同じく、南から大山を目指す道「六本松通り大山道」をたどります。国道255号が近似したルートで、東海道の小田原宿を起点としています。

#### かまぼこで有名な城下町「小田原」

小田原宿は関八州を統一した小田原北条氏や譜代大名・大久保氏11万3千石の城下町として繁栄しました。西に向かう人の大半が箱根山を越えるため、ここで休息する人が多く、本陣・脇本陣(宿泊所として指定された家)がそれぞれ4軒、旅籠が95軒集まっており、東海道屈指のにぎわいがあったとされています。

また古くから漁業が盛んで、船の上から拝むことができる大山は羅針盤の役割も果たし、海洋の守り神や大漁の神として漁師たちに信仰されていました。

魚の保存利用として誕生したのが「小田原かまぼこ」です。水揚げされる魚の評判を聞き、日本橋のかまぼこ職人などがこの地に移り住んだといわれています。参勤交代で箱根路を通る大名にも賞味されたため、技術に磨きがかかり、名物となりました。

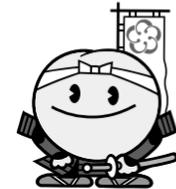
ここから、飯泉の渡しで現在の酒匂川を越え、梅林で有名な曾我を抜けると、道の名の由来になっている六本松に至ります。

#### 歴史上の人物ゆかりの地「六本松」

曾我山の峠道で、かつて大きな6本の松があったので六本松と呼ばれましたが、現在は1本も残っていません。大山道として利用される前から奈良時代の僧・弓削道鏡や源頼朝などが通り、鎌倉時代に各豪族の居館と鎌倉を結んだ「鎌倉道」や箱根路も交わる重要な場所でした。また、松尾芭蕉や与謝蕪村が句を詠んだともいわれています。

久所(中井町)で羽根尾通り大山道と合流し、井ノ口を経て曾屋(秦野市)を過ぎると伊勢原市に入り、大山に向かいます。

◇次回は「蓑毛通り大山道」を紹介します



小田原市観光PRキャラクター「梅丸」



六本松峠の入り口にある標柱。付近には二宮尊徳遺髪塚があります(小田原市提供)



久所にある「大山三里 金目二里」とかかれた道標(左から2番目)。金目は金目観音のこと(中井町提供)